

- 一、經濟界と労働者
- 二、戦線統一の問題
- 三、總聯合の國家主義に就て
- 四、共產主義ファツシズムに就て
- 五、ストライキ決行に就て
- 六、政治運動に関する方針

### 運動方針に関する決議案

#### 經濟界と労働者

政府のインフレーション政策其の他資本主義的對症療法及び國の暴落、滿洲事変に伴ふ軍需品工業の活況等によつて、本年七月頃より物價は高騰を示し、最近に至つては貿易また出超となり、新聞は「スし振りに労働者の解雇より雇入超過」とデカデカ報導してゐる。

然れば果して景氣は回復したのであるか、資本主義は立ち直つたのであるか、この問ひに對して我々は明白に「否」と答へざるを得ぬ。素より多少の活況を呈してゐることは事實である。しかし乍らその活況はインフレーション政策の如き注射薬と對外為替平價に比し六割以上を暴落した圓價によるものであり、また赤字に悩み抜く國家財政より劇期的巨額を支出しつゝある軍費によるものであることを正しく見分けねばならぬのである。従つて今日の活況が資本主義繁榮の方へ連らがりを持つので